

第２次阪南市子育て拠点再構築方針（案）に対する意見と市の考え方について

１．案件名	第２次阪南市子育て拠点再構築方針（案）に対する意見募集
２．趣旨	限られた財源の中で、新しい時代に対応し、将来にわたって本市の教育・保育環境の継承・充実を図るとともに、安全・安心で、長期的に安定した子育て環境を促進するため、令和元年１２月に策定した「阪南市子育て拠点再構築方針」を継承し、「第２次阪南市子育て拠点再構築方針」を策定します。
３．意見の募集期間	令和７年７月１日（火）から令和７年７月３１日（木）
４．提出者	３６名
５．提出された意見等	１６９件

No.	分類	意見要旨	市の考え方及び対応
１	第２次阪南市子育て拠点再構築方針の策定について	スケジュールが速すぎる。もっと時間をかけて考え、丁寧な説明を尽くし、じっくりと進めていくべきではないか。	現行施設の課題の解決のために、スピード感を持って進めたいと考えていますが、多様な意見を考慮して、意思決定を行います。
２	第２次阪南市子育て拠点再構築方針の策定について	担当課だけでなく、まちづくりの担当課や市議会、市民や学識経験者や専門の会議体等で、数年かけて議論すべきではないか。	現行施設の課題の解決のために、スピード感を持って進めたいと考えていますが、多様な意見を考慮して、意思決定を行います。
３	第２次阪南市子育て拠点再構築方針の策定について	予告なく、市が急に発表したことが残念である。	現行施設の課題の解決のために、スピード感を持って進めたいと考えていますが、多様な意見を考慮して、意思決定を行います。
４	第２次阪南市子育て拠点再構築方針の策定について	早急に進めなければならない理由が見当たらない。	現行施設の課題の解決のために、スピード感を持って進めたいと考えていますが、多様な意見を考慮して、意思決定を行います。
５	第２次阪南市子育て拠点再構築方針の策定について	スピード感を持つことは大切である。	ご意見ありがとうございます。多様な意見を考慮して、意思決定を行います。
６	第２次阪南市子育て拠点再構築方針の策定について	自信をもって前に進めてもらいたい。	ご意見ありがとうございます。多様な意見を考慮して、意思決定を行います。
７	第２次阪南市子育て拠点再構築方針の策定について	市民や保護者、現場職員など、当事者の声を聴き、寄り添い、必要なことを確認しながら丁寧にかつ慎重に進めるべきではないか。	本方針の策定は、パブリックコメント手続に加え、当事者の声を聴く機会を確保しながら進めています。
８	第２次阪南市子育て拠点再構築方針の策定について	子どもが減少している。市民に意見を求める必要はないのではないか。	市民に意見を求めることは、阪南市市民参画手続条例に基づき、必要なものであると認識しています。
９	第２次阪南市子育て拠点再構築方針の策定について	なぜ、市議会を通さずに進めようとしているのか。	本方針を策定するに際しては、市議会の議決を要するものではありません。議決を要する事項については、適宜市議会に諮ります。

No.	分類	意見要旨	市の考え方及び対応
10	第2次阪南市子育て拠点再構築方針の策定について	市で一方的に決めないでほしい。また、財源や数字だけでなく、子どもや子育て世帯、育児の実情に配慮したものにしてほしい。	本方針を策定するにあたり、パブリックコメント手続に加え、当事者の声を聴く機会として、説明及び意見交換会を開催しました。
11	第2次阪南市子育て拠点再構築方針の策定について	市民の声を聴き、市民とともに考えて作成したものと言えるか。	パブリックコメント手続等にて頂戴した多様な意見を考慮して、意思決定を行います。
12	第2次阪南市子育て拠点再構築方針の策定について	市民に対して報告・説明し、それに対して意見を求め、改善するというプロセスを繰り返すべきではないか。	パブリックコメント手続等にて頂戴した多様な意見を考慮して、意思決定を行います。
13	第2次阪南市子育て拠点再構築方針の策定について	市長を含めた職員だけで決定せずに、市民の意見を聴く機会をたくさん設けてくれたことに感謝する。	ご意見ありがとうございます。
14	第2次阪南市子育て拠点再構築方針の策定について	市で（案）を策定する前に、関係各所に説明等を実施すべきではなかったか。	パブリックコメント手続を実施するにあたり、まずは、市が（案）を策定する必要があると認識しています。
15	第2次阪南市子育て拠点再構築方針の策定について	市民の声を聴き、方向性を示してから（案）を策定すべきではなかったか。	パブリックコメント手続を実施するにあたり、まずは、市が（案）を策定する必要があると認識しています。
16	第2次阪南市子育て拠点再構築方針の策定について	パブリックコメントの意見聴取期間を延長し、広く市民に知らせるべきではないか。	意見の提出期間や周知については、阪南市市民参画手続条例に基づき実施しました。
17	第2次阪南市子育て拠点再構築方針の策定について	保護者だけでなく、市民全員に説明すべきではないか。	意見の提出期間や周知については、阪南市市民参画手続条例に基づき実施しました。
18	第2次阪南市子育て拠点再構築方針の策定について	従来の方針は委員会で議論し、パブリックコメントを実施した後に保護者等説明会があったが、今回同じ流れになっていないのはなぜか。	本方針を策定するに際しては、市議会の議決を要するものではありません。議決を要する事項については、適宜市議会に諮ります。なお、従来もパブリックコメントの手続中に、保護者等説明会を開催しており、手続きとしては、概ね同じ流れとなっています。
19	第2次阪南市子育て拠点再構築方針の策定について	1回だけの説明会とせず、もっと市民の意見に耳を傾けてから実行してほしい。	令和7年7月の本件に関する説明及び意見交換会は全6回開催しました。
20	第2次阪南市子育て拠点再構築方針の策定について	説明会を開催したという実績だけ残し、後に事後報告するだけで良いとは思わないでほしい。	パブリックコメント手続等にて頂戴した多様な意見を考慮して、意思決定を行います。
21	第2次阪南市子育て拠点再構築方針の策定について	方針を確定する前にもう一度説明会を開いてほしい。	パブリックコメント手続等にて頂戴した多様な意見を考慮して、意思決定を行います。なお、方針の確定後に、説明及び意見交換会を開催します。
22	第2次阪南市子育て拠点再構築方針の策定について	市民等からの意見はどのように反映されるのか。また、どのように反映したかわかる資料を提示してほしい。	パブリックコメント手続等にて頂戴した多様な意見を考慮して、意思決定を行います。意見の反映部分等は、本資料、第2次阪南市子育て拠点再構築方針、第2次阪南市子育て拠点再構築方針における（案）からの変更点等をご確認ください。
23	第2次阪南市子育て拠点再構築方針の策定について	今回の（案）は再考し、白紙、撤回又は凍結等をしてほしい。	パブリックコメント手続等にて頂戴した多様な意見を考慮して、意思決定を行います。

No.	分類	意見要旨	市の考え方及び対応
24	第2次阪南市子育て拠点再構築方針の策定について	子どもが生まれたタイミングなど、もっと早い時期に周知すべきではないか。	ご意見ありがとうございます。多様な意見を考慮して、意思決定を行います。
25	第2次阪南市子育て拠点再構築方針の策定について	従来の第2ステージの実現を進めず、急な方向転換を行うのはなぜか。	施設の老朽化と子どもの育ちへの影響を踏まえたものです。なお、従来の第2ステージでも、今後整備する公立の認定こども園は1施設としています。今般、整備する公立の認定こども園の整備地域を変更しますが、下荘地域に配慮し、新たに民間施設を整備することを位置づけました。
26	第2次阪南市子育て拠点再構築方針の策定について	市は、第2ステージを実現しようと覚悟して取り組んでいることを評価する。	ご意見ありがとうございます。多様な意見を考慮して、意思決定を行います。
27	第2次阪南市子育て拠点再構築方針の策定について	従来の第2ステージの実現の断念や民間の認定こども園の公募を市民に説明しないのはなぜか。	パブリックコメント手続に加え、全ての市民を対象に、説明及び意見交換会を実施しました。
28	第2次阪南市子育て拠点再構築方針の策定について	(案)の策定にあたり、なぜサウンディング調査を実施しないのか。	一般的に、サウンディング調査は公民連携事業の検討を進めるために実施するものと認識しており、(案)の策定にあたって実施するものではないと考えています。
29	第2次阪南市子育て拠点再構築方針の策定について	男性職員のみではなく、女性職員も含めて検討してもらいたい。	女性職員も含めて検討しています。
30	第2次阪南市子育て拠点再構築方針の策定について	市長が変わっても大きく方針を変えないとしてきたこれまでの説明・経過と矛盾するのではないか。	従来の第2ステージでも、公立の認定こども園を1つだけ整備することを位置づけていました。今後、整備する公立の認定こども園は1つとなり、大きく変更したものではありません。また、公立幼稚園の統合は、当初の想定以上に園児数が減少したことに伴うものですので、新たに方針に位置づけることとしました。
31	第2次阪南市子育て拠点再構築方針の策定について	不便になる人はいるかもしれないが、便利になる人のことも考えて検討してもらいたい。	ご意見ありがとうございます。多様な意見を考慮して、意思決定を行います。
32	第2次阪南市子育て拠点再構築方針の策定について	市全体でバランスを取り、縮小するところと拡充するところを検討してもらいたい。	ご意見ありがとうございます。多様な意見を考慮して、意思決定を行います。
33	第2次阪南市子育て拠点再構築方針の策定について	今回の(案)は、市民の意見に寄り添うという市長の方針に矛盾しないか。	本方針を策定するにあたり、パブリックコメント手続に加え、市民の声を聴く機会として、説明及び意見交換会を開催しました。
34	第2次阪南市子育て拠点再構築方針の策定について	一部の地域であっても、選択肢を少なくすることは、市長の掲げる憧れのまちという考えに逆行するのではないか。	ご不便をおかけする方もいますことから、多様な意見を考慮して、意思決定を行います。
35	第2次阪南市子育て拠点再構築方針の策定について	10年後の阪南市のビジョンを持って、理想の実現に向けて行動すべきではないか。	ご意見ありがとうございます。多様な意見を考慮して、意思決定を行います。
36	第2次阪南市子育て拠点再構築方針の策定について	今後はきめ細やかな情報発信をしてもらいたい。	ご意見ありがとうございます。多様な意見を考慮して、意思決定を行います。
37	公立幼稚園・保育所全般について	再構築せず、既存の4施設を残してもらいたい。	昨今の人口減少をはじめとした社会情勢や現行施設の老朽化の進行、市の財政状況等を踏まえると、既存の4施設を残すことは困難と考えています。

No.	分類	意見要旨	市の考え方及び対応
38	公立幼稚園・保育所全般について	市の東部と西部に１ヶ所ずつ公立施設を残すべきではないか。	昨今の人口減少をはじめとした社会情勢や現行施設の老朽化の進行、市の財政状況等を踏まえると、新設する公立施設は１ヶ所と考えています。
39	公立幼稚園・保育所全般について	公立施設は、地域や小学校区ごとに配置すべきではないか。	昨今の人口減少をはじめとした社会情勢や現行施設の老朽化の進行、市の財政状況等を踏まえると、地域や小学校区ごとに公立施設を配置することは困難と考えています。
40	公立幼稚園・保育所全般について	公立施設は子どもの少ない地域をカバーできるように配置すべきではないか。	子どもの少ない地域への配慮も検討していきたいと考えています。
41	公立幼稚園・保育所全般について	公立施設の利用者が減少している中、公立施設を廃止することは当然のことである。	ご意見ありがとうございます。
42	公立幼稚園・保育所全般について	既に生まれている子どもたちは、既存の施設に通えるよう配慮してもらいたい。	特に影響を受ける方への配慮の観点から、原案２６頁の記載について、まい幼稚園の園児募集を停止しないよう修正し、下荘地域の認定こども園の選定に関する事項を加筆します。
43	公立幼稚園・保育所全般について	公立施設は、災害発生時の避難所になるのではないか。	公立幼稚園及び公立保育所については、本市の指定避難所及び指定緊急避難場所ではありません。
44	公立幼稚園・保育所全般について	公立施設を集約することによる防災面や災害発生時の対応、家庭の事情への配慮が必要ではないか。	様々な配慮について検討します。
45	公立幼稚園・保育所全般について	公立施設を選択する保護者の送迎等の都合を考えていないのではないか。	本市では、教育・保育提供区域を市全体の１区域に設定していますが、保護者の利便性の向上の観点から、必要な措置を検討します。
46	公立幼稚園・保育所全般について	財政的な理由で公立施設が継続運営できなくなることに納得できない。子どもへの投資こそ優先すべきではないか。	持続可能な行財政運営を図る必要もあることから、重点的に投資できるよう、さらなる行財政構造改革を推進する必要があると考えています。
47	公立幼稚園・保育所全般について	公立施設の統廃合を市議会に諮る必要はないのか。	施設の廃止条例の制定際等、議決を要する事項については、適宜市議会に諮ります。
48	公立幼稚園・保育所全般について	舞や貝掛、箱作や箱の浦地域における選択肢として、人口増加施策のためにも公立施設を残すべきではないか。	就学前教育・保育施設については、市全体の需要と供給等を見定めて配置します。人口が増加し、新たな施設の整備が必要となった際は、施設区分や公私区分も含めて改めて検討します。
49	公立幼稚園・保育所全般について	公立施設は地域の核となり、世代を超えて人をつなぐ役割があるのではないか。	そのような側面もありますが、第一義的には、小学校以降の教育の基礎をつくるための幼児期の教育を行うこと等を目的とした、子どもの育ちのための就学前教育・保育施設です。
50	公立幼稚園・保育所全般について	公立施設の出身者は、小学校へ進学すると勉強についていけないと聞いたが事実か。	そのような事実は把握していません。
51	公立幼稚園の統合について	来年度の園児募集は、入園を希望している保護者や体験入園に参加した保護者に配慮し、まい幼稚園も実施してもらいたい。	特に影響を受ける方への配慮の観点から、原案２６頁の記載について、まい幼稚園の園児募集を停止しないよう修正します。
52	公立幼稚園の統合について	これまでの公立幼稚園の統合では、園児募集を停止しなかったように記憶しているが、従来の方法では、何か重大な問題があったのか。	これまでの統合で重大な問題はございません。特に影響を受ける方への配慮の観点から、原案２６頁の記載について、まい幼稚園の園児募集を停止しないよう修正します。

No.	分類	意見要旨	市の考え方及び対応
53	公立幼稚園の統合について	公立幼稚園の統合を検討する前に、預かり保育の拡充や長期休業日の保育の実施、給食の実施等により、園児数を増加させる努力をすべきではないか。	公立幼稚園の統合に伴う財源を活用し、預かり保育の拡充等、公立幼稚園の機能の充実に取り組みたいと考えています。
54	公立幼稚園の統合について	まい幼稚園とはあとり幼稚園の統合は、はあとり幼稚園に駐車場等を整備してから実施すべきではないか。	公立幼稚園の統合に向けて、駐車場の確保等、必要な整備を検討します。
55	公立幼稚園の統合について	過去の受入実績から、はあとり幼稚園に駐車場等を整備する必要はないのではないか。	駐車場の確保等の必要な整備は、過去の受入実績だけでなく、保護者の利用状況等を踏まえて検討します。
56	公立幼稚園の統合について	公立幼稚園の統合先は、敷地面積が広く、ロケーションが良く、豊かな自然環境を有するまい幼稚園にすべきではないか。	公立幼稚園の統合先は、園児数や施設の改修状況、ハザードマップ等も踏まえて総合的に判断し、はあとり幼稚園としました。
57	公立幼稚園の統合について	公立の幼保連携型認定こども園の整備を待ってからまい幼稚園を統合すべきではないか。	公立幼稚園の統合は、まい幼稚園の園児数の減少に起因するものであり、公立の幼保連携型認定こども園の整備とは異なる要因となります。
58	公立幼稚園の統合について	保護者の選択肢や地域とのつながり等のためにも、公立幼稚園は統合せず、2園とも継続運営してもらいたい。	そのような側面もありますが、第一義的には、小学校以降の教育の基礎をつくるための幼児期の教育を行うなどを目的とした、子どもの育ちのための就学前教育・保育施設です。
59	公立幼稚園の統合について	公立幼稚園の統廃合は当然のことで、令和10年度を待つ必要はないのではないか。	特に影響を受ける方への配慮の観点から、令和10年度より前倒しにすることは困難です。
60	公立幼稚園の統合について	複数学級という理由は、統廃合の問題の時にだけ発生するもので、破綻した理由ではないか。また、なぜ、保育所は単数学級でも問題にならず、幼稚園は問題になるのか。	本市においては、単数学級という理由だけをもって統廃合を検討していません。また、国における施設の設置基準において、学級という考え方は、幼稚園や認定こども園のものであり、保育所にはありません。
61	公立幼稚園の統合について	園児数が減少したから統合することは、財政的な発想ではないか。	子どもの集団生活の中での育ちの保障を第一義としたものですが、持続可能な行財政運営の視点も重要であると考えています。
62	公立幼稚園の統合について	土砂災害警戒区域を理由としてまい幼稚園を閉園するのであれば、舞小学校はどうなるのか。	子どもの集団生活の中での育ちの保障を第一義としたものであり、土砂災害警戒区域にまい幼稚園の一部が含まれていることを主眼に公立幼稚園を統合するものではありませんが、統合先をはあとり幼稚園とする理由の一つとして考えています。
63	公立幼稚園の統合について	まい幼稚園の園児募集を停止した場合、行事等ははあとり幼稚園との合同開催を検討されているか。	特に影響を受ける方への配慮の観点から、原案26頁の記載について、まい幼稚園の園児募集を停止しないよう修正します。なお、行事等も例年どおりに行うこととなりますが、交流や行事等の合同開催についても検討します。
64	公立幼稚園の統合について	まい幼稚園をはあとり幼稚園に統合するにあたり、通園バスの巡回や安全対策はどのように検討されているか。	通園バスの巡回ルート等は、例年、通園バスの利用者が決まった段階で検討しており、今後も同様に検討します。なお、安全対策のさらなる向上に努めます。
65	公立幼稚園の統合について	車を運転することができない家庭のために、参観や懇談等の際に配慮をしてもらえないか。	今後、様々な配慮について検討します。
66	公立幼稚園の統合について	まい幼稚園で使用していた制服や用品等を、はあとり幼稚園で使用できるようにしてもらえないか。	今後、様々な配慮について検討します。

No.	分類	意見要旨	市の考え方及び対応
67	公立幼稚園の統合について	まい幼稚園の園児が激減した原因や背景など、詳しく分析した内容を記載すべきではないか。	全国的に少子化の影響や保育ニーズの多様化などにより、公立幼稚園の園児数は減少傾向にあり、本市独自の要因ではないことから、記載については省略しています。
68	公立幼稚園の統合について	少人数の幼稚園は、丁寧な関わりにより自己肯定感を育むことにつなげることができるため、選択を希望する家庭もある。大きな集団にこだわらず、幼児期の経験を十分に確保し、まい幼稚園は少人数の幼稚園として存続させてはどうか。	大きな集団の中に小さな集団を作ることではありますが、小さな集団だけでは大きな集団を経験する機会を確保することができません。幼児期の多様な経験の機会の確保の観点から、現時点で少人数制の幼稚園を整備することは考えていません。
69	公立幼稚園の統合について	教員の印象に基づく、文部科学省委託の幼児集団の形成過程と協同性の育ちに関する研究ではなく、少人数と多人数の学級で育った子どもの協同性を比較した研究データを引用すべきではないか。	本研究は、文部科学省のホームページ等で広く紹介され、現場職員の経験と実績等に裏打ちされたデータであると認識しています。
70	公立幼稚園の統合について	説明会で職員が発言した、幼児期に大きな集団で過ごす経験の必要性や小さな集団での職員のスキルアップの困難さ、公立幼稚園が統合しても幼稚園教諭が不足しないことの根拠は何か。	文部科学省委託の幼児集団の形成過程と協同性の育ちに関する研究や、実際に現場で働く職員の意見等を根拠にしています。また、現在、公立幼稚園の幼稚園教諭は不足していないため、統合により、運営に支障が生じることはないものと考えています。
71	公立幼稚園の統合について	案の段階で、次年度から募集停止と周知することは、手続き面の瑕疵ではないか。	まい幼稚園の園児募集の停止する案とその周知について、手続き上での問題はありません。
72	下荘地域の認定こども園について	下荘保育所は建て替えではなく、耐震化や改修等により存続してもらいたい。	従来から、今後整備する公立の認定こども園は1施設としています。下荘保育所は一定の耐震化を実施しましたが、老朽化が進行しているため、改修等のみでは利用が困難な施設であると考えています。
73	下荘地域の認定こども園について	下荘保育所は公立施設として現地建て替えや移転してもらいたい。	現地での建て替えは、工事中の安全面、仮設施設に要する費用、児童や職員への負担等を踏まえると困難です。なお、従来の第2ステージでも、今後整備する公立の認定こども園は1施設としており、今般、整備する公立の認定こども園の整備地域を変更したことにより、下荘地域に配慮し、新たに民間施設を整備することを位置づけました。
74	下荘地域の認定こども園について	下荘保育所の現地建て替えは、小学校や幼稚園の空き教室等の活用により実現するのではないか。また、その方が財政的な負担が少ないのではないか。	現地での建て替えは、工事中の安全面、仮設施設に要する費用、児童や職員への負担等を踏まえると困難です。また、小学校や幼稚園の空き教室等をそのまま活用することはできず、別途改修等の費用が発生し、二重投資になるばかりか、結果として費用負担が大きくなることが想定されます。
75	下荘地域の認定こども園について	下荘保育所を現地建て替えし、保育園留学制度などの、新たな取組を検討してはどうか。	現地での建て替えは、工事中の安全面、仮設施設に要する費用、児童や職員への負担等を踏まえると困難です。また、保育園留学については、先進自治体等の調査研究が必要であると考えています。
76	下荘地域の認定こども園について	下荘保育所は廃止せず、阪南市の特長を生かした丁寧で質の高い保育を提供する施設としてアピールし、運営を継続すべきではないか。	従来から、今後整備する公立の認定こども園は1施設としています。下荘保育所の保育は、公立の認定こども園への継承とともに、新設する民間の認定こども園にも継承できるよう取り組みます。
77	下荘地域の認定こども園について	下荘保育所は旧下荘小学校跡地に移転するのではなかったのか。	令和元年12月策定の阪南市子育て拠点再構築方針では、石田保育所と下荘保育所の統合先の候補地の一つとして、旧下荘小学校を位置づけていましたが、令和5年9月に候補地を見直すことを表明し、現在に至っています。
78	下荘地域の認定こども園について	市有地のみの検討では、従来の第2ステージを実現しようとした努力が見受けられない。	令和5年9月に従来の第2ステージの候補地を見直すことを表明して以降、様々な検討を行い、現在に至っています。

No.	分類	意見要旨	市の考え方及び対応
79	下荘地域の認定こども園について	下荘保育所が老朽化し、現行施設では安全を確保できないことは理解できる。	ご意見ありがとうございます。
80	下荘地域の認定こども園について	公立施設を民間に全て委ねると、地域から子どもを遠ざけ、地域やまちの衰退につながるのではないかと。	民間施設の設置により、地域やまちの衰退につながるとは考えていません。
81	下荘地域の認定こども園について	新設する民間の認定こども園の開園時期は、現在下荘保育所に通う子どもにも影響がないよう令和１３年度以降にしてみたい。	子どもたちの安全・安心の確保が急務であり、施設の安全性の確保を最優先し、令和１０年４月の開園をめざします。
82	下荘地域の認定こども園について	新設する民間の認定こども園の運営事業者の決定は、１１月頃に行われる新年度の申込期間に配慮したスケジュールにしてみたい。	特に影響を受ける方への配慮の観点から、原案２６頁の記載について、下荘地域の認定こども園の選定に関する事項を加筆します。
83	下荘地域の認定こども園について	民間施設では、公立施設の保育の継承、支援必要な子どもの受入れ、学校との連携は難しいのではないかと。	公民の連携により就学前教育・保育の底上げを図ります。多様な意見に配慮し、原案２６頁の記載について、下荘地域の認定こども園の選定に関する事項を加筆します。
84	下荘地域の認定こども園について	民間施設では、市の教育・保育内容を底上げできないのではないかと。	公民の連携により就学前教育・保育の底上げを図ります。
85	下荘地域の認定こども園について	下荘地域に民間の認定こども園が新設されることは喜ばしい。	ご意見ありがとうございます。
86	下荘地域の認定こども園について	私立施設の選択肢を増やすため、下荘地域に民間の認定こども園を整備してみたい。	ご意見ありがとうございます。
87	下荘地域の認定こども園について	多様化する地域のニーズに応えるためには、公立施設では限界があり、家庭状況に応じたきめ細やかな対応ができ、子どもたちにとって安定した環境を提供できるのは民間施設である。	今後とも、公民問わず、就学前教育等の向上に取り組みたいと考えています。
88	下荘地域の認定こども園について	新しい民間施設は、人口増加につながるのではないかと。	新設する民間の認定こども園が人口増加にもつながるように期待したいと考えています。
89	下荘地域の認定こども園について	民間施設の誘致など、多様な担い手との連携は高く評価する。	ご意見ありがとうございます。
90	下荘地域の認定こども園について	公民のバランスを保ち、持続可能で質の高い教育・保育環境を整備してみたい。	既存の民間施設も含め、より一層の連携に取り組んでいきたいと考えています。
91	下荘地域の認定こども園について	下荘地域に新設する民間の認定こども園は、公募により選定してみたい。	下荘地域に新設する民間の認定こども園は、原案記載のとおり、公募により選定します。
92	下荘地域の認定こども園について	下荘地域に新設する民間の認定こども園の選定には、保護者や現場職員の意見を取り入れてもらいたい。	現場経験のある職員の意見を取り入れながら、民間の認定こども園の整備を行います。そのため、原案２６頁の記載について、下荘地域の認定こども園の選定に関する事項を加筆します。
93	下荘地域の認定こども園について	下荘地域に新設する民間の認定こども園の整備場所は、下荘保育所から離れすぎることのないようにしてみたい。	原案記載のとおり下荘地域で公募します。交通の利便性を含め総合的に選定する予定です。

No.	分類	意見要旨	市の考え方及び対応
94	下荘地域の認定こども園について	下荘地域に新設する民間の認定こども園の整備場所は、海から離れた津波の心配のないところとし、送迎用駐車場を確保してもらいたい。	原案記載のとおり下荘地域で公募します。津波の影響等の安全・安心を含め総合的に選定する予定です。
95	下荘地域の認定こども園について	下荘地域に新設する民間の認定こども園の定員は、下荘保育所の在籍児童数を下回らないようにしてもらいたい。	新設する民間の認定こども園の定員については、下荘保育所の在園児数や今後の見込み等を踏まえ検討します。
96	下荘地域の認定こども園について	下荘地域に新設する民間の認定こども園は、下荘保育所と同一の保育方針や保育内容とし、従わない場合は指導やペナルティを課してもらいたい。	多様な意見に配慮し、原案２６頁の記載について、下荘地域の認定こども園の選定に関する事項を加筆します。
97	下荘地域の認定こども園について	下荘地域に新設する民間の認定こども園の職員配置は、国の最低基準を上回るようにしてもらいたい。	多様な意見に配慮し、原案２６頁の記載について、下荘地域の認定こども園の選定に関する事項を加筆します。
98	下荘地域の認定こども園について	新設する民間の認定こども園でも、現在の下荘保育所の制服や用品は継続して使用できるようにしてもらいたい。	多様な意見に配慮し、原案２６頁の記載について、下荘地域の認定こども園の選定に関する事項を加筆します。
99	下荘地域の認定こども園について	新設する民間の認定こども園で、信頼関係の構築できている現在の下荘保育所の職員に継続して勤務してもらいたいが、下荘保育所で勤務している職員の新しい勤務先はどこか。	原則として、石田保育所が新しい勤務先となりますが、新設する民間の認定こども園での勤務を希望する職員については、運営事業者と協議します。
100	下荘地域の認定こども園について	下荘地域の認定こども園の公募を進め、運営事業者を決定してから公立施設の統廃合を市議会に諮ることは、市民を無視し、議会を軽視するものではないか。	新設する民間の認定こども園の公募を含め、本方針の策定等については、市議会の議決を要するものではありません。議決を要する事項については、適宜市議会に諮ります。
101	下荘地域の認定こども園について	下荘地域の認定こども園の整備に関心を持つ民間の事業者があるとのことだが、あらかじめ事業者と接触することに問題はないのか。	昨年度に実施したサウンディング調査において、民間の事業者と対話を行いました。新設する民間の認定こども園については、公募とし、今後選定委員会により選定を行う予定のため、問題はありません。
102	下荘地域の認定こども園について	特定の民間施設ありきであり、財政的な理由や老朽化は後付けの理由ではないか。	ご意見のような、特定の民間施設ありきの話ではありません。
103	下荘地域の認定こども園について	サウンディング調査は、民間事業者を探す場になっているといった指摘もあり、一般市民の意見を反映したとは言えないのではないか。	サウンディング調査は第３期阪南市子ども・子育て支援計画策定の際に実施したもので、ご意見のようなものではありません。また、市民の意見募集については、パブリックコメント手続に加え、全ての市民を対象に、説明及び意見交換会を実施しました。
104	下荘地域の認定こども園について	民間施設も尊重すべきではあるが、その施設に合わない人は行き場がなくなり、施設周辺を生活圏に選択したことを後悔させるのではないか。	今後、様々な配慮について検討していきます。
105	下荘地域の認定こども園について	転園によって生じる制服代等の費用は、新設する民間の認定こども園以外の施設を希望した場合も市が負担すべきではないか。	新設する民間の認定こども園と石田保育所への転園を想定しています。
106	下荘地域の認定こども園について	下荘保育所に通う子どもや保護者のメンタルケアについて記載してもらいたい。	今後、様々な配慮について検討していきます。
107	下荘地域の認定こども園について	下荘保育所を廃止すると、支援を必要とする子どもの居場所やセーフティネットとしての役割、公立保育所の選択肢の減少に課題があるが、どのような対応を検討しているか。	多様な意見に配慮し、原案２６頁の記載について、下荘地域の認定こども園の選定に関する事項を加筆します。

No.	分類	意見要旨	市の考え方及び対応
108	下荘地域の認定こども園について	少子化が進む中で、石田保育所と下荘保育所の児童がさほど減少していない現実に注目してもらいたい。	下荘保育所の児童数も考慮のうえ、新たに民間の認定こども園を整備することとしました。
109	下荘地域の認定こども園について	従来、第2ステージでの認定こども園の整備は1つだけだったが、第3ステージを含め、なぜ2つに増えたのか。	従来の第2ステージでは、今後整備する公立の認定こども園は1施設としていました。今般、整備する公立の認定こども園の整備地域を変更しますが、下荘地域に配慮し、新たに民間施設を整備することを位置づけました。
110	まい幼稚園・下荘保育所の利活用について	廃止後の施設は、子育て支援施設として利活用してもらいたい。	市全体の公共施設の整備計画等を検討する中で、廃止後の施設の取扱いを検討します。
111	まい幼稚園・下荘保育所の利活用について	廃止後の施設が未利用財産とならないよう、廃止後の利活用方針を示してもらいたい。	市全体の公共施設の整備計画等を検討する中で、廃止後の施設の取扱いを検討します。
112	第3ステージについて	公立の認定こども園の保育内容等は、現場の職員の意見を聴いて検討してもらいたい。	実際に勤務している職員の意見を踏まえながら検討することを想定しています。
113	第3ステージについて	公立認定こども園ではなく、共働き世帯に選んでもらえる公立幼稚園・公立保育所を確保することが阪南市の魅力につながるのではないかと。	公立幼稚園と公立保育所の双方の機能を有し、保護者の就労形態の多様化に対応して、同じ施設で教育・保育が提供することができる運営体制が求められており、保護者のニーズが高いことから整備するものです。また、公立の良さは継承し、市の魅力の向上に繋がるよう努めていきたいと考えています。
114	第3ステージについて	就学前施設が東鳥取地域に偏っているが、公立の認定こども園はなぜ東鳥取地域に整備するのか。また、東鳥取地域での整備では、人口流入に繋がりにくいのではないかと。	石田保育所の在園児童数や医療的ケア児への支援等セーフティネットの役割、通園の利便性等を総合的に判断したものです。また、就学前教育・保育施設は、市全体の需要と供給等を見定めて配置するものと考えています。
115	第3ステージについて	民間の認定こども園が多くある中で、公立の認定こども園を整備するメリットは何か。	公立幼稚園と公立保育所の双方の機能を有し、保護者の就労形態の多様化に対応して、同じ施設で教育・保育が提供することができる運営体制が求められており、保護者のニーズが高いことから整備するものです。
116	第4ステージについて	幼稚園と認定こども園の目的の違い、インクルーシブな教育・保育の提供、支援の必要な子どもの居場所、子どもへの関わり、保護者間交流、多様な保護者ニーズ、人口増加策等の観点から、公立幼稚園を公立の認定こども園に統合することは、避けるべきではないかと。	平成29年に、幼稚園教育要領と幼保連携型認定こども園教育・保育要領が改定され、幼児教育の指針として、統一的な内容に変更されています。そのため、公立認定こども園は公立幼稚園を継承できる施設であると考えています。
117	第4ステージについて	公立幼稚園を公立認定こども園に統合した場合、お昼寝、送迎、遊ぶ時間、地域との関わりなど変化が生じるものは、どのように補うのか。	公立認定こども園での教育・保育内容は現時点では未定ですが、教育・保育の質の向上等に努めていきたいと考えています。
118	第4ステージについて	公立幼稚園を廃止することは、働かずに子育てをしようとしている保護者に、働かなくてはいけないという社会の風潮を助長させるのではないかと。	共働きを推奨するために公立幼稚園を廃止するものではありません。
119	第4ステージについて	公立の認定こども園は300人規模の施設を想定されていると思うが、感染症や経済活動への影響も考慮し、施設を分散させておくべきではないかと。	公立の認定こども園の定員は未定であり、300人規模での整備を想定していません。
120	第4ステージについて	将来的に公立施設を1つにする計画は、総合こども館構想と同じではないかと。	将来的に公立施設を1つにするための計画ではありません。

No.	分類	意見要旨	市の考え方及び対応
121	第4ステージについて	認定こども園への移行と、まい幼稚園をはあとり幼稚園を統合する問題は別問題ではないか。	お見込みのとおりです。しかしながら、児童数の減少が続く場合等、将来的に公立認定こども園と公立幼稚園の統合を検討することを位置づけています。
122	第4ステージについて	公立幼稚園は、未就学児への質の高い保育の提供だけではなく、地域住民の拠点として地域の担い手を輩出し、人材育成の場として小中学校につながり貴重な施設ではないか。	そのような側面もありますが、第一義的には、小学校以降の教育の基礎をつくるための幼児期の教育を行うなどを目的とした、子どもの育ちのための就学前教育・保育施設です。
123	第4ステージについて	公立幼稚園の出身者は、不登校や引きこもりにつながる傾向にあると感じるが、そのような内容を（案）に記載してはどうか。	公立幼稚園の出身者が、不登校や引きこもりにつながる傾向にあるという事実は把握していません。
124	第4ステージについて	阪南市の人口が増加した場合に、公立幼稚園があることが市のアピールポイントになり、子どもが増えるといった好循環につながるのではないか。	就学前教育・保育施設については、市全体の需要と供給等を見定めて配置します。人口が増加し、新たな施設の整備が必要となった際は、施設区分や公私区分も含めて改めて検討します。
125	第4ステージについて	少子化に伴って公共施設を減らすのではなく、阪南市の発展について検討してもらいたい。	就学前教育・保育施設については、市全体の需要と供給等を見定めて配置します。
126	財政的な視点について	財源を確保することが市の仕事であり、市の財政問題を子育て世帯に転嫁し、負担を強いていないか。	市としては限られた財源を効果的・効率的に活用することが求められているものと認識しています。
127	財政的な視点について	財源を理由として子育て関連施策をないがしろにしていないか。	市としては限られた財源を効果的・効率的に活用することが求められているものと認識しています。なお、こども政策課の就学前教育・保育に関する予算は、令和6年度から7年度にかけて約2億円増額しており、そのような事実はありません。
128	財政的な視点について	公立幼稚園の運営に必要な予算はどれくらいで、そのうち、どれくらいを回収できているのか。	令和7年度当初予算ベースで、公立幼稚園関係の予算総額は約1億5,000万円です。また、そのうち、国等の補助金や利用者負担等は、約450万円です。
129	財政的な視点について	今回の（案）により軽減される費用はどの程度か。	予算軽減を主な目的とはしていませんが、第2ステージが実現した場合、令和10年度以降、毎年6,000万円程度の費用が軽減される見込みです。
130	財政的な視点について	寄附やふるさと納税、クラウドファンディング等の活用に加え、企業の誘致や市役所内の予算の配分の見直し、国からの借入れ等により、担当課の予算を確保できないか。	例年、各担当課は限られた予算の中でそれぞれの施設運営や事業実施をしています。今後とも、さまざまな補助金の活用など、歳入の確保に努めていきたいと考えています。
131	財政的な視点について	将来を見据え、限られた予算を有効活用しようとする考えに賛同する。	ご意見ありがとうございます。
132	財政的な視点について	第2次阪南市子育て拠点再構築方針内に、予算や財政的な内容を記載してはどうか。	財政的な理由を主眼として策定するものではないことから、記載はしておりません
133	阪南市子ども・子育て会議及び阪南市子ども・子育て支援事業計画関連について	平成31年3月の子ども・子育て会議の諮問への答申について、現状と適合しないのはどこか。また、まい幼稚園を認定こども園に移行させると、ほとんどの項目が適合するのではないか。	「公立幼稚園の適正規模の基準については、各学年において複数の学級を有することが望ましい。」とされた点が適合しないため、まい幼稚園を認定こども園へ移行させるただことだけで適合はしません。

No.	分類	意見要旨	市の考え方及び対応
134	阪南市子ども・子育て会議及び阪南市子ども・子育て支援事業計画関連について	サウンディング調査で提出された、統合する施設の距離、統合後の立地なども考慮する必要があるといった意見は反映されていないのではないか。	サウンディング調査については、その前提として、提出された意見のすべてを計画反映や実現化できるものではありません。特に、本市の公立幼稚園は現在２施設のみで、統合にあたっての、選択肢が限られています。なお、第４ステージでの、公立認定こども園とはあと幼稚園の統合を検討する際には、統合する施設の距離、統合後の立地を考慮できるものと考えています。
135	阪南市子ども・子育て会議及び阪南市子ども・子育て支援事業計画関連について	今回の（案）では、第３期阪南市子ども・子育て支援事業計画にある、地域の実情に応じて保護者や子どもが容易に移動することが可能な距離にならず、子育て拠点を生活圏の範囲に配置しないことは、施設の選択の権利、生存権、子どもの権利の侵害ではないか。	第３期阪南市子ども・子育て支援事業計画において、地域の実情に応じて保護者や子どもが容易に移動することが可能な距離として、教育・保育提供区域を市全体の１区域に設定しています。
136	阪南市子ども・子育て会議及び阪南市子ども・子育て支援事業計画関連について	第３期阪南市子ども・子育て支援事業計画の無作為抽出のアンケート結果は、単なる傾向を把握したものであり、回収率が４０％程度では、市民の声を聴いたとは言えないのではないか。	第３期阪南市子ども・子育て支援事業計画のアンケート調査は、施策の必要量や市民の傾向や意向を把握するために実施したもので、アンケートの回収率が４０％あれば、十分な信頼性のある結果が出ていると考えています。
137	阪南市子ども・子育て会議及び阪南市子ども・子育て支援事業計画関連について	第３期阪南市子ども・子育て支援事業計画のアンケート結果で、子育て環境や支援施策の満足度が低下しているが、原因の究明をすべきではないか。また、そのために、当事者以外の若者や支援者、その他の親族等から意見を聴くべきではないか。	第３期阪南市子ども・子育て支援事業計画に基づく施策等を確実に実施し、保護者等の満足度の向上を図ります。また、第３期阪南市子ども・子育て支援事業計画のアンケート調査は、施策の必要量や市民の傾向や意向を把握するために実施したもので、集計方法や意見の聴取先等は、国の手引き等に従っています。
138	阪南市子ども・子育て会議及び阪南市子ども・子育て支援事業計画関連について	第３期阪南市子ども・子育て支援事業計画のアンケート結果で、認定こども園の利用希望が多かったことは、まい幼稚園の廃止や下荘保育所の民営化の根拠にはならないのではないか。	第３期阪南市子ども・子育て支援事業計画のアンケート調査は、施策の必要量や市民の傾向や意向を把握するために実施したもので、まい幼稚園の廃止等の根拠ではありません。
139	子育て支援施策について	共働き世帯のために、保育施設の設置や定員数の増加を検討してもらいたい。	各年度における保育施設の利用定員数等は、阪南市子ども・子育て支援事業計画の量の見込みと確保方を踏まえて定めています。今後とも、各年度の利用意向を適切に捉えて、必要な利用定員数等を確保したいと考えています。
140	子育て支援施策について	働いている人も働いていない人も全ての保護者が胸を張って子育てを楽しめるよう応援できるまちづくりをしてもらいたい。	ご意見ありがとうございます。
141	子育て支援施策について	和泉鳥取や山中溪等の市の中心地以外にも屋内で遊べる子どものための施設を設置してもらいたい。	ご意見ありがとうございます。屋内で遊べる子どもたちの施設については、今後の検討課題と考えています。
142	子育て支援施策について	田畑を活用した食育活動、海や山などでの自然体験、地元食材を活用した給食、園舎のない森の幼稚園等を実施してはどうか。	現在、市内の各就学前教育・保育施設では、様々な食育活動や自然体験等を実施しています。森の幼稚園の実施については、事例研究等を進めて行きたいと考えています。
143	子育て支援施策について	今回の（案）は、子育て世帯の希望をなくさせるもので、子育て支援と逆行していないか。	そのようなことに繋がらないよう、安全安心でワクワクする子育て環境づくりを進めていきます。

No.	分類	意見要旨	市の考え方及び対応
144	子育て支援施策について	子育て支援や子育てしやすい環境とは何か。	子育てに關しての第一義的責任を有する保護者を援助し、必要とするすべての家庭が利用でき、こどもたちがより豊かに育っていける支援や環境を指すと考えています。
145	子育て支援施策について	市内の民間施設で障がい児保育を提供している施設はどこか。また、その施設は、診断を受けた子どもも受入れ、クラス担任以外の加配の職員は配置しているのか。	令和6年度では、ワンワン認定こども園と桃の木の森こども園でクラス担任以外に加配の職員を配置していたことを把握しています。また、両園とも、診断の有無を要件に配置していませんが、療育的な支援が必要であることを施設と保護者等で確認しています。
146	少子化対策、移住・人口増加施策について	人口減少を受け入れた統廃合ではなく、子育て世帯を呼び込むための施策や人口増加施策となるよう再検討してもらいたい。	就学前教育・保育施設については、統廃合を含めて市全体の需要と供給等を見定めたうえで配置するものです。なお、子育て世帯を呼び込むための施策や人口増加施策は、別途市全体の施策の中で検討を進めます。
147	少子化対策、移住・人口増加施策について	少子化対策や移住施策としてまい幼稚園を残すことはできないか。	本市の少子化対策や移住対策として、公立幼稚園を設置するものではありません。
148	少子化対策、移住・人口増加施策について	今いる子ども1人1人を大切にすることや、阪南市の公立施設の良さ、徒歩圏内に就学前施設があること等をアピールすることで、少子化対策につながるのではないか。	就学前教育・保育施設については、少子化対策につなげるためではなく、市全体の需要と供給等を見定め配置するものです。なお、原案26頁の記載について、公立施設の機能強化に関する事項を加筆します。
149	少子化対策、移住・人口増加施策について	人を集めたい地域など、将来的なビジョンに沿って新設する施設の整備場所を検討すべきではないか。	公立の認定こども園の整備する東鳥取地域については、石田保育所の在籍児童数や医療的ケア児への支援等セーフティネットの役割、通園の利便性等を総合的に判断したものです。なお、就学前教育・保育施設は、市全体の需要と供給等を見定めて配置するものと考えています。
150	少子化対策、移住・人口増加施策について	阪南市の特性を活かした教育・保育により、子どもたちが大人になっても阪南市に住みたいという意識を育むことができるのではないか。	ご意見ありがとうございます。多様な意見を考慮して、意思決定を行います。
151	少子化対策、移住・人口増加施策について	出生率の向上、移住者の増加、働きやすい環境の整備、世代間交流の場をつくることなどに取り組むべきではないか。	ご意見ありがとうございます。多様な意見を考慮して、意思決定を行います。
152	少子化対策、移住・人口増加施策について	阪南市で生まれ育った子どもは、進学や就職を機に転出し、その後阪南市に戻ってこない傾向が伺えるため、阪南市に戻りたいと思えるよう、地元への愛着を育てることが必要ではないか。	ご意見ありがとうございます。多様な意見を考慮して、意思決定を行います。
153	少子化対策、移住・人口増加施策について	地域力を上げることで、若い世代の定住が進み、魅力あるまちを作ることができるのではないか。	ご意見ありがとうございます。多様な意見を考慮して、意思決定を行います。
154	少子化対策、移住・人口増加施策について	地域の施設は、コミュニティの活性化や見守り体制の強化につながるのではないか。	ご意見ありがとうございます。多様な意見を考慮して、意思決定を行います。
155	少子化対策、移住・人口増加施策について	廃校になった学校を利活用した、移住施策等を行い、人口の増加を図るべきではないか。	ご意見ありがとうございます。多様な意見を考慮して、意思決定を行います。
156	少子化対策、移住・人口増加施策について	市の移住施策と逆行する内容であり、不安や不信感を抱いた市民は多く、人口の流出や出生数への影響があるのではないか。	ご意見ありがとうございます。多様な意見を考慮して、意思決定を行います。なお、就学前教育・保育施設については、市全体の需要と供給等を見定めて配置するものです。
157	少子化対策、移住・人口増加施策について	地域から子どもの姿がなくなるのは寂しい。	ご意見ありがとうございます。多様な意見を考慮して、意思決定を行います。

No.	分類	意見要旨	市の考え方及び対応
158	少子化対策、移住・人口増加施策について	今後の少子化対策はどのように検討されているのか。	子育て世代の求めているワークライフバランス等を踏まえ、子育てしやすい環境づくりなどが大切であると考えています。
159	意見の公表について	概要ではなく提出者の原文どおりに意見を公表し、提出された意見に市の考えを付さないでもらいたい。	申し訳ございませんが、原文ではなく、同じ内容のご意見等については、集約して市の考え方を付すことを前提にパブリックコメントを実施しています。
160	意見の公表について	類似意見の件数を分かるようにして公表すべきではないか。また、説明及び意見交換会での意見は、意見を出すために費やした時間も公表すべきではないか。	申し訳ございませんが、頂戴したご意見は、集約することを前提にパブリックコメントを実施しています。また、説明及び意見交換会でのご意見のために費やした時間の公表は考えていません。
161	意見の公表について	厚生文教常任委員会に提出された説明及び意見交換会の報告資料は、客観的な資料ではないのではないか。	厚生文教常任委員会に提出した説明及び意見交換会の報告資料は、さまざまなご意見等を踏まえ作成した資料です。
162	その他	阪南市の就学前教育・保育施設は、豊かな自然環境を活かしきれていないのではないか。	市内の各就学前教育・保育施設では、様々な自然体験等を実施していますが、認知度向上のための取組を検討します。
163	その他	民間施設の利用者が増えているのは、公立施設が廃止され、民間施設が増えたためであり、当然のことではないか。	お見込みのとおりです。なお、公立幼稚園の利用者の減少が著しく、市全体の就学前教育・保育施設の利用者の減少傾向を大きく上回っています。
164	その他	石田保育所の駐車場を拡充すべきではないか。	多様な意見に配慮し、原案26頁の記載について、各施設の環境向上に関する事項を加筆します。
165	その他	子どもは地域で遊び、学びながら育つことで地域を知り、地域を守り育てる意識が育ちます。この、地方自治の持続的発展に不可欠で重要な視点が欠けているのではないか。	第3期阪南市子ども・子育て支援事業計画において、教育・保育提供区域を市全体の1区域に設定しています。なお、就学前教育・保育施設については、市全体の需要と供給等を見定めて配置するものであり、第一義的には、小学校以降の教育の基礎をつくるための幼児期の教育を行うこと等を目的とした、子どもの育ちのための就学前教育・保育施設です。多様な意見を考慮して、意思決定を行います。
166	その他	老朽化や市の財政状況などの課題はあるが、子どもを通わせたいと思えるような、ワクワクする計画を策定してもらいたい。	ご意見ありがとうございます。多様な意見を考慮して、意思決定を行います。
167	その他	利便性だけでなく、阪南市の子どもに必要な幼児教育や幼児期の経験として必要なことを視点に置いてもらいたい。	ご意見ありがとうございます。多様な意見を考慮して、意思決定を行います。
168	その他	魅力的な施設があることで、保育士不足への対策につながるのではないか。	ご意見ありがとうございます。多様な意見を考慮して、意思決定を行います。
169	その他	今後、小中学校も突然の統廃合が進むのではないか。	ご意見ありがとうございます。多様な意見を考慮して、意思決定を行います。なお、本方針により、小中学校の統廃合が進むものではありません。